

トヨタ博物館 (TOYOTA AUTOMOBILE MUSEUM) 見学

車 可吉

トヨタ自動車株式会社(以下トヨタ)創立50周年記念事業の一環として、1989年(平成元年)4月に開館したトヨタ博物館に初めて行ってきました。住所は愛知県長久手市横道41-100、愛・地球博記念公園(モリコロパーク)の近くで最近、その中にジブリパークがオープンしました。敷地面積は46,700㎡(約14,000坪)と非常に広くクルマ館と文化館の二棟が建っている。クルマ館には1890年代から2010年代に製造された日本・米国・欧州の自動車が約140台展示されていて、ほぼ全ての自動車が走行可能とのことである。流石世界のトヨタ、技術力も天下一品である。

クルマ館(建築面積約1500坪)の1Fはシンボルゾーンでトヨタ初の生産型乗用車「トヨタAA型乗用車」(1936年レプリカ)が展示されている。真っ黒で丸みを帯びた車体、観音開きのドア、昔の映画に出てくるような自動車である。

エスカレーターに乗り2Fに行くともまず目に飛び込んできたのが、1886年にドイツのカール・ベンツが製造したパテントモートルヴァーゲン(レプリカ)という三輪自動車で時速15kmのスピードで走行できた代物である。2Fは1890年代から1950年代の自動車が年代別に展示されている。したがって欧米の自動車の展示が中心となり、国産車も散見されるがほとんど見たことのない物ばかりである。自動車の型を見ていると馬車の型を変化させ、次第に空気抵抗も考慮していることが感じられる。

3Fは1950年代から2010年代に製造された物なので見覚えのあるもの、憧れのもの、実際に運転したものなど多数あり興奮してくる。国産車もトヨタだけでなく、日産、ホンダ、スバル、マツダ、ダイハ



クルマ館の定礎?



トヨタAA型乗用車(レプリカ)



ベンツ パテントモートルヴァーゲン(ドイツ)(レプリカ)



キャデラック シリーズ452A (アメリカ)



ドラーヂュ タイプD8-120 (フランス)



パッカードトゥエルブ (アメリカ)



トヨタ2000GT MF10型

ツ、三菱など他社の代表的な車種も展示されている。旧木場の会社で所有していたカローラ、コロナ、ブルバード。帰ってきたウルトラマンに登場したマツダコスモスポーツ、映画の007や漫画「サーキットの狼」に出てくるトヨタ2000GT、日産のスカイライン(ケンとメリーのではないが)。学生時代憧れのカローラレビン、バブル時代を象徴するスポーツカーのホンダNS-Xや高級車のセルシオ (LS400)。そしてハイブリッドカーのプリウス、水素車のMIRAIなど見ていて至福の時を過ごせた。



マツダ コスモスポーツL10B型

文化館(約820坪)の3Fは図書室があるが今回は立ち寄らなかった。自動車関連の書籍が充実しているようである。2Fは展示室でポスターやパンフレット、エンブレムや玩具や切手など約4000点展示されている。1FはショップやCAFÉがありお土産を購入することができる。屋外にはボンネットバスとIMTSが展示されている。

名古屋市内からは少し離れているが、車好きの方はぜひ一度訪問してみてください。